

政策1(1) 地域資源を活かした特色あるまちづくり

1 元気で魅力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・市民がもっと”わ”の街を自慢できるようにもっと地域資源の良さに目を向ける必要がある。 ・バスケ、宇宙、いろんなまちがあり、それぞれ進めているが統一感がない ・木都のしろにしては、木のおもちゃ等、まち中に木があふれるような取組が足りない ・多面的な観光が足りない ・移住定住事業が他市町村に比べて遅れている ・移住定住の情報発信不足 ・アフター5不足 ・雇用場所の確保 ・空き家バンクの総合的な窓口が必要 ・空き家対策の更なる取組 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(行政、団体、事業所) □各種団体等(NPO法人等) ▽行政(市) ○市民 ◎連携(JR、市) ◎連携(行政、団体、事業所) ○市民 □各種団体等(NPO法人等) ◇事業者等(事業所・企業) ▽行政(市・県・ハローワーク) ※学校 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携して市民がもっとまちづくりに取り組む仕組みを構築する。 □市民と事業者等を結ぶ団体を創設 □各団体間の連携をサポート □これまで以上にそれぞれの団体等の活動に取り組む ▽市独自のまちづくりの市民活動を支援する ○地域行事・祭り等へ積極的に参加 ◎市と企業(JR等)が連携し取り組む ◎市と民間の連携によるの空き家対策 ◎空家バンクの窓口と移住コンシェルジュが協働により事業を行う ◎情報の共有 ○能代に帰ってきてと積極的に呼びかける、ロコミ活動 ○市民が地域資源を活用し、市外へ積極的にPRする □移住サポートコンシェルジュを配置する ◇能代にしかないようなものを売り込む(技術など) ▽秋田市の大学生を住まわせて通学費用を補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に活性化すればよい ・多面的なガイド育成とガイド数の増加 ・各種団体の連携によるイベントの実施の増加 ・移住関連のイベント、ツアーの増加とお試し滞在の利用数の増加 ・移住者のサポート体制を強化。相談件数・移住者数、移住体験参加者数の増加 ・移住者数 年5名増。 ・体験移住 年5組。 ・移住定住情報提供登録者数 年10人 ・空家バンクをより活用させ移住定住事業と連動して空家を減らし住人増やす ・空家数の低減 ・空家のリフォーム補助の増
<p><1次素案> 【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特色を活かしたまちづくり ○地域資源の活用 ○市の認知度向上と愛着心の醸成 ○移住定住の受入環境 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市独自の特色あるまちづくりを展開する ②市の魅力を高め発信する ③移住やUターンがしやすい環境を整える 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の特性が活かされ、能代らしいまちづくりにつながる。 ○地域の資源が認識され、観光や特産品、市のイメージ向上に活かされる。 ○市の魅力が向上し、住み続けたいまち、暮らしたいまちになる。

政策 1 (2) みんなが参加し活躍する地域づくり

1 元気で魅力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値 (指標)	担い手・役割 (資金)	事業・活動	目標値 (指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアをしやすい環境整備が整っていない ・ 高齢化・人口減少によるボランティアの参加者減少 ・ ボランティアは学校でやらされているイメージが子どもたちにある ・ ボランティアをやりたくてもどうしたらよいか分からない ・ アパートに入居している人が自治会に入ってくれない ・ ボランティア活動をしている団体は多いが、取りまとめている場所がバラバラなので活動数を把握 (基準値や指標に表す) することが困難 	<ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 (行政、教育機関、各種団体等) ○市民 □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 ※教育機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎様々な立場の人が集まり、意見交換をしながらボランティアの活躍できる土壌を整備することについて協議する ○ボランティアセンターへの登録や地域活動を含めたボランティアに参加する (夏休みのラジオ体操の時間を利用して、ボランティア活動を行う (昇平岱参考)) ○アパート住人や市外からきた人、高齢者への声かけを積極的に行う ○地域活動やボランティアなどに関する講習会等へ更なる理解を深めるために積極的に参加する □ボランティアセンターやボランティア団体、市民活動センター等が連携して地域活動に積極的な市民へ情報提供やマッチングを行う □自治会や町内会、町づくり団体と若者が連携し、地域活動を盛んにする場を醸成する ◇企業が社会貢献としてのCSR (Corporate Social Responsibility) や男女共同参画の役割の理解を深め、女性や若者が働きやすい環境整備を行う ▽ボランティアや協働に対する考え方の再考。協働をテーマにしたワークショップの実施による地域活動への市民参画を進める ▽次世代を含めたリーダーシップ研修等に対する人材への支援。 ※子どもの頃からのボランティアの福祉教育を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会・町内会やボランティア活動に実際に参加する市民の割合を50%にする ・ 自治会加入率を90%にする ・ NPO活動などに実際に参加している市民割合の増加 (北秋田市参照) ・ ボランティアセンター登録者数3300人 (第1次能代市総合計画の指標) ・ 現在の能代市ボランティアセンターの登録者数 (3,140人、63団2,874人、個人登録266人) この他にも、登録せずに活動している方は多数 ・ NPO登録団体数 年新規1つ (伊藤案) 3つ (武田案) ←数も大事ですが、数値目標なので、多すぎると無駄に予算を使わないといけなくなる可能性があります (潟上市参照) ・ 男女共同参画セミナー等の開催回数 年3回 (大館市参照) ・ 男女イキイキ職場宣言を行った事業所数増加 (横手市参照) ・ 女性就業率 50% ・ リーダシップ研修会等の増加 ・ コミュニティースクールの登録数の増加 ・ 市民協働アドバイザーなど専門家の配置 <p>※具体的な指標については、皆さんで検討したいです</p>
<p><1次素案> 【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民活動の広がり ○若者が活躍しやすい環境 ○地域コミュニティの維持 ○まちづくり協議会の活動 ○地域自治区の今後のあり方 ○女性の活躍推進 ○人権意識や平和意識 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等 (NPO・大学等含む) ◇事業者等 (生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①NPOやボランティアが活動しやすい環境を整える ②地域づくりの活動を活性化する ③男女共同参画や国際理解の意識を広める ④人権意識や平和意識を守る 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア等の活動がしやすく、交流や連携が進むこと。 ○自治会や町内会等の活動が活発になり、地域の課題解決や身近なまちづくりにつながること。 ○性別や国籍等にかかわらず、地域社会で活躍できること。

政策 1 (3) 心豊かな暮らしを支える健康づくり

1 元気で魅力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値 (指標)	担い手・役割 (資金)	事業・活動	目標値 (指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活で減塩が進んでいない ・禁煙を強く押し進める ・歯科医院の休日診療の実施 ・若い世代に看護師の職業に関心をもってもらう ・全市民が一度は健康診断、がん検診、特定検診を受診する ・自殺による死亡率の低下は減少傾向にはあるが、なくなっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> □各種団体等 (栄養士、調理師) ◇事業者等 ▽行政機関 ◎各主体間の連携 (行政機関、企業) ◎各主体間の連携 (歯科医師会・行政機関) ◎各主体間の連携 (行政、学校、医師会) ◎各主体間の連携 (行政機関、企業) □各種団体等 ◇事業者等 ◎行政機関・傾聴ボランティア・NPO法人・教育機関 	<ul style="list-style-type: none"> □調理実習や料理教室等の開催 ◇企業のPR活動 ▽学校教育から教えていく ◎建物内の喫煙場をなくす。飲食店は分煙 ◎禁煙の更なるPR活動の実施 ◎休日 (連休) の歯科医番制で応急処置の対応 ◎奨学金制度等で地元に残るような働きかけ ◎デュアルシステム、職場体験を充実させる □健康推進員の力をかり、早期発見、早期治療につなげる ◇かかりつけ医が、年1回がん検診を受ける活動を推進する ◎ゲートキーパーとなる傾聴ボランティア育成講座の継続、また各傾聴ボランティアが協働できる活動が必要働き世代だけでなく、子ども達、また高齢者の孤立を防ぎ、悩みを気軽に相談できる窓口の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭が減塩食生活に慣れ病気の予防につなげる ・喫煙率を10%まで減らす (とくに20代~40代) ・歯科医院が休日の診察を実施する ・地域医療を維持するため、人材を確保する ・がん死亡率を少しでも減らしたい。 ・健康診断の受診率の向上 ・自殺率の減少50% (現状の半減) ・引きこもり率の減少50% (年齢性別問わず、現状の半減を目指す)
<p>< 1次素案 ></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病対策や介護予防 ○悩みを相談できる環境の重要性 ○特定健診・がん検診等の実施 ○地域の中核病院 ○救急医療の体制 ○福祉医療制度の状況 ○診療所の状況 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等 (NPO・大学等含む) ◇事業者等 (生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①心の健康づくりと生活習慣改善の意識を広める ②疾病予防や早期発見の体制を整える ③総合的な医療体制を確保する ④効率的で利用しやすい医療体制を整える 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普段から健康を意識して生活し、生涯を通して健康でいられること。 ○身近で悩みごと等の相談ができ、心の健康が保たれること。 ○地域医療が維持され、必要なときに必要な医療が受けられること。

政策 1 (4) 気軽に親しみ楽しめるスポーツ

1 元気で魅力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値 (指標)	担い手・役割 (資金)	事業・活動	目標値 (指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・生産世代 (40代~60代) がスポーツに参加しやすい環境整備 ・スポーツフィールドとしての風の松原の整備 ・スポーツ合宿誘致活動への積極的な取組 ・スポーツ施設の利用料金体系が旧能代市と旧二ツ井町で異なる ・一流の試合・プレーを観戦する機会が少ない ・運動、スポーツに親しむ児童、生徒の二極化 ・学校やオープンスペースの有効活用 (学校開放、公園) ・優れた指導者と審判員の確保、人材育成 ・トップアスリートの活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 (行政、競技団体) ◇事業所 ▽行政機関 ◎各主体間の連携 (行政、競技団体) ▽行政機関 ◎各主体間の連携 (行政、競技団体) ◎各主体間の連携 (市民、各種団体、行政) ◎各主体間の連携 (市民、各種団体、事業者、行政) ◎各主体間の連携 (事業者、行政) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎___の受け入れ体制の一本化を行う ◎___の無料体験の実施 ◇働き方改革を進め、スポーツをする時間を確保する ▽サイクリングコースやトリムランニングコースの案内看板等を整備する ◎スポーツ合宿を積極的に誘致する ◎誘致活動窓口の一本化を図る ◎___の協議会の立ち上げ ▽料金体系の見直し ◎大規模スポーツイベントの誘致、開催 ◎学校体育の充実、幼児運動教室の推進、社会体育の充実 ◎習慣的活動場所の確保、スポーツ器具の整備 (3×3、スケートボード、ボルタリング等) ◎就職支援、養成・講習会等への支援 ◎テクニカルアドバイザーの配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた健康づくり週2回実施させる ・世代を超えて、市民がスポーツを気軽に楽しめる環境づくり ・風の松原の環境を整備することで観光にもつながる ・経済波及効果、交流人口の増加 ・公平な利用、利用促進 (施設利用者の増加) ・市民が夢や感動を共有する機会をつくる。(年6回) ・運動・スポーツをする時間を持ちたいと思う児童、生徒の割合80%or子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回るようにする。 ・スポーツ環境の充実 ・交流人口の拡大による経済波及効果 (受入年間〇人) ※昨年度含め過去の市補助金の実績を教えていただき、そこから目標値を設定する ・ジュニア層の強化、競技力向上、次代アスリートの育成 ・オリンピック等世界大会への出場者を輩出。
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯スポーツの環境 ○スポーツ少年団の状況 ○スポーツイベントの開催 ○スポーツ施設の状況 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等 (NP0・大学等含む) ◇事業者等 (生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スポーツに親しめる環境を整える ②競技スポーツの環境を確保する ③スポーツによる特色あるまちづくりを展開する ④スポーツ施設を効率的・効果的に運営する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツを気軽に楽しみ、健康づくりや体力づくり、仲間づくりができること。 ○スポーツに取り組める環境があり、競技力が向上すること。 ○スポーツイベント等を通じて交流が広がり、地域の活性化につながること。

政策2(1)地域や社会で支える子ども・子育て

2 笑顔で人が輝くまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値 (指標)	担い手・役割 (資金)	事業・活動	目標値 (指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない 未婚化、晩婚化の進行 その要因は？ <ul style="list-style-type: none"> ・若者の結婚観の変化 ・社会構造の変化 ・若者の労働条件の悪化 ・若者の貧困 ・ライフスタイルの多様化 ・子育てしやすい環境か？ <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係、地域コミュニティの希薄化による育児の孤立、子育て世代の負担感増 ・子育てに関する機能が1ヶ所になくて不便 ・雇用と収入の不安 ・能代に結婚支援センターがない ・結婚サポーターが4人しかいない ・結婚支援センターでの女性の情報開示者の少なさ ・子どもの貧困 ・子どもが幼稚園に入ると多くの母親が働き始めるため、子育てサークルを維持できない ・子どもの居場所があるか 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携 (家庭、各種団体、行政) ◎連携 (結婚サポーター、各種団体、行政) ○市民 (家庭) □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子育て支援センターやつどいの広場等の機能、お母さんたちが集える子どもの包括センターをつくる ◎市独自の婚活に結婚サポーターが関われるネットワークをつくる ○子どもを中心とし、子どもにとっていい環境の空間をつくる ○すべての子どもに、多様なひと・自然や文化との関わりを通して、幸せな子ども時代を体験させる □全県の結婚サポーターによる情報交換会へ参加する □子ども同士の異年齢交流を行う □世代間交流を行う □ちゃんとした性教育 (命をつなぐ教育) を行う □子ども食堂、フードバンク □子どもが幅広い年齢層で利用できる”ひろば”の開設 ◇ネットゲームによる出会いの場を提供する ▽子育て支援センターの機能を充実させる ▽ライフスタイルに合わせた仕事と子育てのバランスを選択できるような制度を整える 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが様々な人との関わりの中で、心身共に健やかに成長すること ・親が安心して子育てでき、子育てに喜びを感じる ・地域住民が積極的に子育てに参加し、みんなで子どもを育てる環境があること ・結婚や出産を望む人が増え、その人たちの希望が叶えられること ・つどいの広場が拡充され、世代間交流が進み、みんなで子育てする意識が浸透し、子どもを中心とした社会が実現すること <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚サポーター指標をつくる (能代市：4人 全県：299人) ・子どもが幅広い年齢層で利用できる、多世代・異年齢が自然とふれ合うことのできる場所の数 (ひろば、子ども食堂など)
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未婚化、晩婚化の進行 ○子育てしやすい環境 ○幼児期の教育・保育施設 ○子どもと母親の保健対策 ○安全な環境の整備 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等 (NPO・大学等含む) ◇事業者等 (生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①結婚・出産・子育てを地域で支える ②子どもを生き育てやすい環境を整える ③子どもと母親の健康を保つ ④子どもを守り支える環境を整える ⑤ひとり親家庭の自立を支援する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○結婚や出産を望む人が、希望を叶えられること。 ○地域で安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられること。 ○地域住民と子どもの交流があり、子どもが心身ともに元気で健やかに成長すること。

政策2(2)次代を担う子どもを育てる学校教育

2 笑顔で人が輝くまち分科会

現状や課題 (①今こうだから) 基準値(指標)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす) 目標値(指標)
	担い手・役割(資金)	事業・活動	
<ul style="list-style-type: none"> 学校の小規模化に伴う問題の深刻化 児童、生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い協力し合い切磋琢磨する機会が少ない 核家族化、1人親世帯の増加による家庭の教育基盤の脆弱化 支援を必要とする子どもの増加 アレルギーの子どもの増加 学校の先生の多忙化 子どもたちの体験の少なさ(低学年からスポ少に入り、ひとつのスポーツのみに熱中するなど) いじめ、不登校問題の深刻化 学校統合の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(学校、保護者、地域) ◎連携(保護者、地域) ◎連携(____、____、____、____) ◎連携(____、____、____、____) ○市民 ▽行政 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校、保護者、地域がしっかりと運営していけるように情報交換を密にする ◎保護者、地域との協働による学習機会を拡充する ◎家庭教育支援チームを____ ◎豊島区との「学校教育連携協定」を利用して、能代の子供たちが能代の歴史、自然、まつりなどを東京に発信する ○地域の力で子どもを守る(防災教育、防犯対策) ▽「学校生活管理指導票」への助成 ▽学校統合については、「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行う ▽持続可能な開発のための教育を推進する(ESD、東北六県) 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、地域が連携して学校を運営すること(コミュニティスクール) 地域の人が先生となって学校を支えること <p>【指標】</p>
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の未来を担う子どもの育成 ○特別な支援を必要とする児童生徒の増加 ○児童生徒数の減少と学校統合 ○市の奨学金制度の状況 ○学力向上に向けた取組 ○いじめや不登校の問題 ○食生活の意識と食育 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育環境を整える ②心豊かな子どもを育てる教育を進める ③基礎学力や基礎体力の向上を図る ④子どもの心と体の健康を保つ 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもが良好な環境で学ぶことができ、子どもの個性や能力が伸びること。 ○学校が地域の活動の場として開かれ、地域と連携した教育が進むこと。 ○子ども一人ひとりが命の大切さを学び、人や社会との関わり方を身に付けられること。

政策2(3) 地域や社会に活かす生涯学習

2 笑顔で人が輝くまち分科会

現状や課題 (①今こうだから) 基準値(指標)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす) 目標値(指標)
	担い手・役割(資金)	事業・活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内や周辺地域に宝になるものが多いが、利用されず放置されている ・市の歴史・文化について、周辺地域との関わり認知度が低い ・過去の大火ですべて失ったという認識を持つ人が多い ・文化芸術・民俗芸能団体の高齢化、後継者不足 ・自主学习グループ数、グループ内の会員数が減少 ・学んだことを社会に還元する人の割合が少ない ・地域で子どもを育てる力が弱まっている ・図書館に小さな子どもを連れて行きにくい ・学びの場が少ない(国際教養大の図書館のような、誰でも自由に多くの蔵書や文献にふれて学ぶ場がない) ・市立図書館の地下書庫の豊富な資料が市民に知られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(市民、NPO、行政) ◎連携(市民、学校、行政) ◎連携(____、____、____、____) ◎連携(文化会館、行政、NPO) ○市民 □各種団体等(NPO) ◇事業者等 ▽行政 	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもをターゲットとした取り組みを増やす ◎市民と関係サークル等の共同作業 ◎学校への出前講座、正課クラブ等の講師、学校支援ボランティアを行う ◎乳幼児期からの文化芸術体験をすべての子どもに(アートスタート) ○地域と学校との交流を深める □檜山城の発掘を行う □文化財や地域の宝の情報発信や名前を知ってもらう活動を行う □子ども対象の文化芸術体験を行う(子どもの豊かな育ちと後継者育成を図る) ▽本を集めて市民に開放する(文庫活動) ▽図書館機能を充実させる ▽ニーズに対応した図書館づくり ▽文化財、古文書等の行政機関の専門担当者の拡充 ▽図書館に子どもを連れて行きやすい環境をつくる、子育て支援施設に図書館をつくる ▽各支所の蔵書を増やす ▽気軽に勉強できる場所を増やす ▽社会参加活動を牽引するリーダーの育成と確保 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこを歩いて見ても歴史と文化の香りが感じられるまち <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの登録者数 ・子どもを対象とした事業実施数 ・図書館に日常的に行く人の割合(年代別)
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の成果を活かす環境づくり ○家庭や地域と子どもの関わり ○文化・芸術の振興 ○地域の民俗芸能や民俗行事 ○文化財等の状況 ○社会教育施設等の状況 ○図書館の充実 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域の活動につながる学習環境を整える ②青少年の健全な成長を支える ③伝統文化の保存・継承活動を支援する ④文化・芸術の振興を支援する ⑤文化財や歴史資料の調査・保存を行う ⑥社会教育施設を効率的・効果的に運営する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学べる機会があり、学んだ知識や技能、技術が、地域や社会に活かせること。 ○文化・芸術の活発な活動により、人づくりや地域づくりにつながる。 ○民俗芸能や民俗行事等を通じて、世代間交流が進み、地域住民の結びつきが深まること。 ○地域の歴史や文化への理解が深まり、地域に愛着や誇りを持つこと。

政策2(4)地域で活躍する元気な高齢者

2 笑顔で人が輝くまち分科会

現状や課題 (①今こうだから) 基準値(指標)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす) 目標値(指標)
	担い手・役割(資金)	事業・活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・独居老人、高齢者のみ世帯の増加 ・在宅・施設での療養者の増加 ・地域医療制度が整備されていない ・民間委託される地域包括支援センターの運営のあり方 ・老人クラブに求められている社会参加・社会貢献 ・後期高齢者を中心に、の不安を抱える人が多い ・介護予防の内容や参加者確保の工夫 ・保坂福祉会館における講座の利用者増加 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(市、地域包括支援センター、介護事業所等) ○市民 □各種団体等 ◇事業者等(地域包括支援センター) ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎在宅診療医の委託、訪問看護ステーションの拡充、訪問介護事業の整備等「地域医療介護システム」実現 ○高齢者によるボランティア活動、学校支援等 ○老人クラブの会員確保 □介護予防活動への支援 □サロン活動の充実と活性化 ◇各地域に高齢者が集い語り合う場をつくる ◇認知症疾患医療センターと連携し、ケアプラン作成等の支援を強化 ▽高齢者福祉・介護に関する計画づくりに介護保険利用者や家族の声を反映させる ▽老人クラブ活動への助成と支援 ▽高齢者が活躍する起業団体等の表彰 ▽高齢者を孤立させないまちづくりのために、地域包括ケアシステムを構築する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生きがいを感じることができること ・地域に役立つ活動をし、地域の人たちとつながっていけること ・知識、経験を活かした社会貢献を通して、高齢者が生きがいを感じること <p>【指標】</p>
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○元気な高齢者の社会参加と地域貢献 ○高齢者世帯の推移 ○地域包括ケアシステムの構築 ○介護保険の介護給付費 ○介護施設の整備状況 ○高齢者福祉施設の状況 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高齢者が活躍できる環境を整える ②高齢者の地域生活を支援する ③介護予防を行う ④介護保険・高齢者医療制度を適正に運用する ⑤高齢者福祉施設を適正に管理する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢になっても住み慣れた家庭や地域で、健康でいきいきと自立した生活ができること。 ○高齢者が知識と経験を生かして、社会に参加し、生きがいや地域の活力につながる。 ○介護等が必要になったときに、必要なサービスや援助を受けられること。

政策2(5) 自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障

2 笑顔で人が輝くまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間の施設がバリアフリーになっていない ・ 健常者と暮らすことに課題が多い ・ 車いすの幅が広がっている ・ 障がい者の認知度が低い ・ 障がい者の就労場所がない ・ 要援護者(高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊婦など)とその家族が福祉避難所と緊急入所施設を利用できることが周知されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(市民、NPO、ボランティア、企業) ◎連携(市民、NPO、ボランティア、企業) ◎連携(市民、NPO、ボランティア、行政) ○市民 □関係団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎障がい者が安心して働ける職場環境の整備 ◎障がい者の雇用率を上げる ◎市民に周知する取り組み(福祉避難所の利用など) □当事者の視点、車いすの寸法に合わせた施設設計 □施設をつくる時の工務店への働きかけ ▽補助金の制度を続ける ▽障がい者用の施設を町中につくる ▽支援学校や就労支援に様々な全国規模の大会のお土産品などを発注する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者と健常者が普通に共生できる社会になる ・ 障がい者が明るく未来に希望を持てる社会になる <p>【指標】</p>
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉のネットワーク ○障がい者の状況 ○国民健康保険の医療費が増加 ○生活保護世帯の状況 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域福祉ネットワークを構築する ②障がい者の自立や地域生活を支援する ③国民健康保険・国民年金制度を適正に運用する ④生活困窮者の自立を支援する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民やボランティア、福祉関係団体が連携できていること。 ○障がいがあっても社会参加でき、住み慣れた家庭や地域で自立した生活ができること。 ○社会保障制度が整っていて、安心して日常生活を送れること。

政策3(1)地域特性を活かした産業創出

3 豊かで活力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
再エネについて ・部品工場がない 港湾について ・岸壁の整備が足りない バイオマスについて ・流通システムが確立していない 総論 ・地元企業等の参入が難しい (ノウハウ必要、ハードル高い)	◎連携(国、県、市、住民) ◎連携(大学、企業、市) ○市民 □各種団体等(主に大学・木高研) ◇事業者等 ▽行政機関	◎国・県への働きかけ ◎技術・情報の共有 ○参入企業への理解・協力 ○参入しやすい雰囲気づくり □行政への企業や大学の働きかけ □バイオマス熱利用技術の開発 ◇積極的な参入 ▽企業誘致 ▽バイオマス熱利用の助成金制度の 確立(ハード、ソフト) ▽企業が参入しやすい環境整備	・新設、増設企業数 ・再エネ自給率 ・能代港の取扱い貨物量
<1次素案> 【現状や課題】 ○再生可能エネルギー導入のための 送電網整備 ○環境調和型社会の形成と関連企業 の立地 ○バイオマスの利活用 ○リサイクルポートとしての能代港 ○港湾機能の強化と利便性向上	【取組の主体】 ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関	【市の施策】 ①再生可能エネルギー関連産業を創 出する ②資源リサイクル関連産業を創出す る ③能代港利活用の環境を整える	【目指す姿】 ○地域資源の利活用により、産業の 創出や関連企業の立地につながる こと。 ○能代港や高速道路の利活用によ り、地域に活気が出ること。

政策3(2)雇用とにぎわいを生み出す商工業

3 豊かで活力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致が成功していない ・交通アクセス悪い ・優遇措置の優位性の売り込みが足りない ・企業誘致が人手不足に拍車をかける ・雇用の選択肢ない ・空き店舗が完全に空いていない ・大型店進出による中心市街地の空洞化 ・大型店進出による再開発の国の支援受けられない(まちづくり三法の主旨をはずれている) ・駐車場ない ・低所得の雇用が多い(雇用の質の低下) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(市民、団体、事業者、行政) ◎連携(市民、団体、事業者) ○市民 □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政 	<ul style="list-style-type: none"> ◎空き店舗の利活用 ◎大型店との差別化(小型店だからできることの追求) ○空き店舗所有者の理解・協力(明け渡してもらう) ▽商店の集積化・コンパクト化 ▽企業の支援 ▽空き店舗所有者への理解啓発 ▽空き店舗情報の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者数 ・空き店舗率 ・新設・増設企業数
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工業の状況 ○能代工業団地と企業誘致の状況 ○起業の支援 ○能代山本の雇用情勢と新規高卒者の就職状況 ○商業の状況と空き店舗 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企業誘致や既存企業の活性化を進める ②起業しやすい環境を整える ③若者を中心に雇用を確保する ④にぎわいある商店街づくりを支援する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな企業立地や起業により、若い人を中心に良質な雇用の機会が増えること。 ○地元企業の活性化が進み、雇用創出等の効果を発揮できること。 ○商店街に人が集まり、交流やにぎわいが生まれ、街に活気があること。

政策3(3)豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

3 豊かで活力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから) 基準値(指標)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす) 目標値(指標)
	担い手・役割(資金)	事業・活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設が少ない ・お金を落とす場所がない ・名物がない(知名度のあるもの) ・滞在人口が少ない ・観光の絶対的な目玉がない ・地域資源を外に伝えきれてない (PRされていないものが多い) ・体験型の祭りが少ない ・夏祭りがたくさんあるのに一体感がない、パッケージされていない ・オリジナリティのある店がない 	<p>◎連携(市民、事業者)</p> <p>◎連携(市民、団体、事業者、行政)</p> <p>◎連携(市民、団体、事業者、行政)</p> <p>◎連携(市民、団体、事業者、行政)</p> <p>◎連携(市民、団体、事業者、行政)</p> <p>◎連携(市民、団体、事業者、行政)</p> <p>◎連携(市民、団体、事業者、行政)</p> <p>◎連携(市民、団体、事業者、行政)</p> <p>○市民</p> <p>□各種団体等</p> <p>◇事業者等</p> <p>▽行政機関</p>	<p>◎空き家のリノベーションによる宿泊場所の確保</p> <p>◎能代の知名度を上げる</p> <p>◎SNSの活用による情報発信</p> <p>◎PR力の強化(テーマを絞って)</p> <p>◎観光プラットフォームの構築</p> <p>◎映画やアニメなどソフトの誘致</p> <p>◎通年を通じた観光の核の開発</p> <p>◎お祭りを盛り上げる環境・空気づくり</p> <p>○民宿の活用による宿泊場所の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国での知名度
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然と歴史 ○地元食材と特色ある郷土料理 ○魅力あるイベントや伝統行事 ○宿泊客の受入れ ○地域連携と外国人旅行者への対応 ○修学旅行やスポーツ等合宿の誘致 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自然や食を堪能できる環境を整える ②滞在型観光の受入体制を整える ③観光客を呼び込む情報発信を行う ④交流が広がるイベントや行事を支援する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光による交流やにぎわいが生まれ、地域に活気があること。 ○豊かな自然や特色ある伝統行事、食文化等、地域資源の魅力により、来訪者の満足度が高まること。 ○観光やイベントの情報発信が行き渡り、地域のイメージが高まること。

政策3(4) 力強く持続する農業

3 豊かで活力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値 (指標)	担い手・役割 (資金)	事業・活動	目標値 (指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・ねぎの需要は大量、通年が求められる ・ねぎの出荷はほとんどが東京で、地元では高く売れない ・ブランド化・付加価値化をするだけでなく、PRも必要 ・外食産業では、味がそこそこで低価格の米に需要がある ・担い手が減ってきている ・農業に特化したIターン・Uターン政策も必要ではないか ・農業をやりたいと移住してくる人もいる ・成功したところをモデルにする ・畜産業の言葉が無い ・市では、効率的な生産体制を整えるため、計画を立てて取り組んでいる ・山間部、耕作放棄地に手が回らない <p>【1次素案に対する意見】</p> <p>※「米と野菜の産地」に「白神ブランド」という言葉を入れてみてはどうか</p> <p>※「消費者ニーズ」ではなく、「高付加価値」ではないか</p> <p>※「ほ場整備の状況」は「農地の集積とほ場整備の状況」としてはどうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携 (JA、市、事業者等、市民) ◎連携 (市、農業委員会、各所有者) ○市民 (地域住民、消費者) □各種団体等 (JA、青果、土地改良区等) ◇事業者等 (農業従事者を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎農産物ブランド化、高付加価値化を推進するとともにPRに努める ◎新規就農移住者に空き家と空き農地を紹介する ○農地や側溝を管理する ○地元の農産物をたくさん食べる □地産地消の協力店になることを地元の事業者働きかける □食育を推進する ◇野菜や畜産の付加価値化、地域ブランド化を進める ▽農業の担い手を確保する <p>【1次素案に対する意見】</p> <p>※施策の方向②の「農作物」を「農産物」としてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に従事する若者や女性の姿が見れること <p>※学生が寄り付かないので、「アグリ」など農業を他の言葉で言い換えられないか</p>
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○米と野菜の産地 ○消費者ニーズへの対応 ○農業の担い手の確保 ○ほ場整備の状況 ○農地の多面的な機能 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等 (NPO・大学等含む) ◇事業者等 (生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全・安心な米と野菜の産地化を図る ②農作物の付加価値を高め販路を拡大する ③農業の担い手を育成する ④農業生産を効率化する ⑤農地を保全する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元産の農産物や加工品の市場評価が高まり、産地として確立すること。 ○農業が魅力的な職業として成り立ち、若い人を中心に農業の担い手が増えること。 ○農業の生産性が高まり、経営の強化につながる。

政策3(5)山・川を生かす林業・木材産業・水産業

3 豊かで活力あるまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・国産材と外材では、国産材の方が安いこともあるので、「低価格の外材～」の「低価格」を削除してはどうか ・秋田スギは、従来の木造建築のみで、販路拡大に限界がある ・登記をしないことによる所有者不明問題、境界が分かる人が少なくなっている境界不明問題等、森林の保全と管理が難しい ・ドローンや航空測量等の林業に活かせる新技術もある ・GIS(地理情報システム)で森林情報を共有する方法もある ・木材高度加工研究所ではCLTの性能実験をしている <p>【1次素案に対する意見】 ※政策名を「山・川・海を生かす～」としてはどうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(消費者、施設管理者、製材業者、市) ◎連携(森林所有者、法務局、市) ◎連携(森林所有者、市、県) ◎連携(森林所有者、森林組合、市、県、国有林) ◎連携(木材高度加工研究所、市内業者) ○市民 □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎住民に木に対して親しみを持ってもらい、病院や介護施設等の非住宅分野での内装木質化による需要拡大を狙う ◎地籍調査や山村境界基本調査等の事業を使って森林の所有権を明確化する。市の情報も活用する。 ◎森林資源の蓄積情報や病害虫被害をより効率的に把握する。 ◎関係者で情報を共有し、施業を行う時の助けとする。 ◎能代でCLTを生産する <p>【1次素案に対する意見】 ※水産業に海の記述が無い ※施策の内容⑤の「ボランティアや地域活動を積極的に～」を「ボランティアや地域活動、森林教育を積極的に～」としてはどうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が木の製品に親しみを持ち、日常の中で使うようになる ・森林の所有権が明確になっており、施業を行う時に障害とならないようになる ・低コスト化を行い、林業で全国の先進事例になる ・施業を行う時に誰に連絡すれば良いか分かるようになる ・CLTの使用率が上がる
<p><1次素案> 【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○厳しい林業経営 ○木材高度加工研究所との連携 ○秋田スギ販路拡大の取組 ○森林の保全と担い手の確保 ○松くい虫被害の状況 ○水産資源の維持・育成 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①木材の利用と需要拡大を図る ②木材関連の研究機能を活用する ③林業の担い手を育成する ④林業生産を効率化する ⑤森林や川を保全する ⑥水産業を振興する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○秋田スギの利用が進み、林業や木材産業の経営強化につながることに。 ○秋田スギの良さを伝え、木のまちとして、街なかに木のぬくもりを感じられること。 ○産学官の共同研究等の成果により、林業や木材産業の育成につながることに。 ○森林の手入れや保全により、水の貯留や浄化などの機能を維持でき、水産資源の持続的な利用につながることに。

政策4(1)安全な暮らしを守る防災・防犯体制

4 安心で暮らしやすいまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織が少ない(6団体) ・ 消防団員の確保 ・ 女性、子育て世帯の避難所 ・ 災害時要配慮者の防災、避難所の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(各企業、各団体) ○市民 □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎災害があったときの対応のネットワークの構築を推進する ○防災の出前講座への積極的な参加 ○防災士の講習を受ける □消防団活動への理解と協力 ◇消防団活動への理解と協力 ◇災害時要配慮者の受け入れ態勢の整備 ▽災害時要配慮者の受け入れのルール整備、及び周知を図る ▽防災士の育成を図る ▽空き家での犯罪・火災の問題に対する所有者の意識を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全自治会の20%以上で自主防災組織を設ける ・ 消防団員の充足率96.8%以上とする ・ 災害時要配慮者が、安全に避難生活ができること
<p><1次素案> 【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域における防災・防犯・交通安全活動 ○国、県、市の防災体制 ○空き家の増加 ○消防団員の減少 ○防災情報の収集・伝達と安全な避難のための環境整備 ○犯罪被害の防止 ○高齢者の交通事故 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災・防犯・交通安全の地域活動を広める ②災害に強い消防・防災体制を整える ③生活相談がしやすい体制を整える ④生活上の安全対策を進める ⑤危険箇所の災害を防止する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○犯罪やトラブルがなく、地域が安全で暮らしやすいこと。 ○災害時に適切な対応がとられ、被害が最小限に抑えられること。 ○安全に通行できる環境があり、交通安全の意識が浸透し、交通事故を防げること。

政策4(2)機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク 4 安心で暮らしやすいまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者に対する公共交通サービス不足 ・歩道、通学路が狭く危険 ・除排雪に関しての不満と負担が大きい ・交通弱者に対する公共交通サービスの不足 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(自治会、市民、ボランティア) ◎連携(事業者、行政機関) ○市民 □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎通学時の見守り強化 ◎除排雪を地域と連携して行う ◎効率的な交通網の確保 ○空き地を利用した除排雪 ○高齢者の持続可能な移動確保や環境問題を用いた啓発活動の実施 ◇除雪技術の向上を図る ◇巡回バスの増便やコースの検討 ▽市民の除排雪作業を支援 ▽歩道の拡幅の検討 ▽高齢者に対するバス料金支援制度の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路や歩道の生活環境が整っていて、安全で快適に暮らせること ・地域住民やボランティア等による除排雪の協力体制が整っており、冬も安全に生活が出来ると感じる市民の割合を60%以上とする ・バス等の交通手段が整っていて、快適に移動できること ・巡回バスの1便平均利用者数を20人を目指す
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の生活環境整備 ○除排雪の連携と雪捨て場の確保 ○地域の公共交通 ○高速交通ネットワークの整備 ○利便性の高い鉄道網 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路整備や排水対策を地域と連携して行う ②除排雪を地域と連携して行う ③効率的な交通網を確保する ④利便性の高い高速交通ネットワークを確立する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活道路や歩道、排水路等の生活環境が整っていて、安全で快適に暮らせること。 ○地域住民やボランティア等による除排雪の協力態勢が整っていて、冬も安全に生活できること。 ○路線バス等の交通手段が整っていて、快適に移動できること。

政策4(3) 快適で暮らしやすい住環境

4 安心して暮らしやすいまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の耐震化が進まない ・水洗化率、下水道の整備率、普及率の伸び悩み ・水道・下水道整備による将来負担、健全経営 ・公園の維持管理コスト増加 ・公園愛護会の高齢化に伴い公園の管理が行き届かず、遊具等の老朽化、また草刈りや樹木の管理が出来ず環境の悪化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(自治会・町内会、行政) ○市民 □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎町内会と連携し、町内会が管理可能なレベルまで縮小して公園を管理委託 ○住宅周辺の環境整備 ○住宅の耐震診断を受ける ○住宅の水栓化工事を行う ○公園愛護会の会員の増強 □公園愛護会活動への理解と協力 ◇公園愛護会活動への理解と協力 ▽住宅の耐震診断の必要性の啓発 ▽住宅の耐震診断の補助 ▽下水道化の難しい地域は浄化槽として民間へ委託 ▽水道を効率的に整備する ▽下水道等を効率的に整備する ▽親しまれる公園や河川にする ▽リフォーム支援事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅耐震診断数を増やす ・住宅耐震化率80%以上とする ・水洗化率100%とする ・安らぎのある憩いの場として、公園や広場等を安心して利用できる感じる市民の割合を増やす
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅の耐震化 ○市営住宅の建替や維持管理 ○水道の整備と健全経営 ○下水道等の整備状況 ○公園施設の維持管理 ○水辺空間としての河川 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①居住環境を整える ②水道を効率的に整備する ③下水道等を効率的に整備する ④親しまれる公園や河川にする 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飲用水の確保や生活排水の処理等により、衛生的で快適な生活環境であること。 ○安らぎのある憩いの場として、公園や広場等を安心して利用できること。

政策4(4) 自然と共生し持続できる環境・衛生

4 安心して暮らしやすいまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化とリサイクルの成果が見えにくい ・郊外でのごみの不法投棄が後を絶たない(放置自転車等含む) ・道路や公園の除草、ゴミ処理が行き届いていない ・地球温暖化 	<ul style="list-style-type: none"> ◎連携(市民、団体、行政) ◎連携(市民、団体、事業者、学校、行政) ○市民 □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎コンポスト拡大の推進、補助金制度の周知 ◎巡回を強化し不法投棄を予防 ◎のしろクリーンパートナーへの登録 ○リサイクル意識の向上 ○再生可能エネルギー設備の導入 ◇再生可能エネルギー設備の導入 ▽のしろクリーンパートナー制度の普及 ▽環境に対する市民意識を高めるよう指導するとともに行政が率先して行う姿勢を示す ▽ごみの減量実績やリサイクルの成果を分かりやすい数値でPR ▽住宅規模での再生可能エネルギーの設備設置に対する補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活からゴミの減量化や資源化が進むこと ・身近な環境や自然、エネルギーに関する理解が深まり、地域ぐるみの環境活動につながる ・のしろクリーンパートナーへの登録数を増やし、自主的な清掃や環境活動につながる
<p><1次素案> 【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山・川・海に囲まれた豊かな自然環境 ○地球温暖化とエネルギー ○旧能代産業廃棄物処理センターの環境保全対策 ○ごみの排出と分別収集 ○一般廃棄物処理施設の状況 ○不法投棄への対応 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①環境に対する意識を高め自然環境を保全する ②ごみの減量化や資源化を進める ③環境調査や環境対策を適正に行う ④廃棄物を適正に処理する ⑤生活上の衛生環境を整える 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な環境や自然、エネルギーに関する理解が深まり、地域ぐるみの環境活動につながる ○環境問題に対して適正に対処し、良好な環境を保全できる ○普段の生活からごみの減量化や資源化が進む

政策4(5)調和のとれた有効な土地利用

4 安心して暮らしやすいまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地空洞化が進んでいる ・中心市街地に空店舗、空家が多い ・中心市街地に人が集まらない ・市営グラウンドの駐車場が少ない ・北高跡地、駅前市場跡地の利活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民(地権者含む) □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光振興計画における市街地観光との連携 ○中心市街地に住む、暮らす ○老朽化した危険な建物の解体 ○空家、空き店舗の売却 □空き店舗、空き地の利活用 ◇空き店舗、空き地の利活用 ◇中心市街地の宅地整備 ▽市の広大な土地の利活用(東中跡地等の整備等) ▽再開発の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域が持つ資源や特性が活かされ、市域にあった良好な都市形成が進むこと ・定住人口や交流人口の確保により、中心市街地に活気があること ・中心市街地に住むことにより、需要が生まれ、雇用が生まれ、人が集まり活気が生まれること ・中心市街地の居住人口の増加
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地利用の状況 ○土地利用の方針 ○中心市街地の活性化 ○北高跡地の利活用 ○学校跡地等の利活用 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域の特性を活かした土地利用を進める ②市街地の効果的な土地利用を進める 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの地域が持つ資源や特性が活かされ、この地域に合った良好な都市形成が進むこと。 ○定住人口や交流人口の確保により、中心市街地に活気があること。

政策4(6)住民サービスに資する効率的な行財政基盤

4 安心で暮らしやすいまち分科会

現状や課題 (①今こうだから)	望ましい取組や連携 (②こうすることによって)		目指す姿 (③こうなることをめざす)
基準値(指標)	担い手・役割(資金)	事業・活動	目標値(指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部委託できる業務の精査 ・ 公共施設の統廃合と住民理解 	<ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民(利害関係者含む) □各種団体等 ◇事業者等 ▽行政機関 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設の相互利用の理解 ◇BPO契約による外部委託 ▽公共施設の統廃合とコンパクト化 ▽ニーズに合わせた施設の統廃合 ▽近隣町村との公共施設の相互利用 ▽広域市町村圏組合によるコスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な受益と負担のもとで、収支のバランスが保たれ、将来にわたって行財政運営を持続できること
<p><1次素案></p> <p>【現状や課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今後の財政運営に厳しさ ○行財政のスリム化、職員数の削減 ○公共施設の維持管理と跡地・空き施設 ○収納対策の強化 ○新たな収入源の確保 ○新庁舎の完成 ○望まれる窓口サービスの推進 ○わかりやすい市政情報の提供 ○情報システムの稼働と個人情報のセキュリティ ○広域的な連携、大学等との連携 	<p>【取組の主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎各主体間の連携 ○市民 □各種団体等(NPO・大学等含む) ◇事業者等(生産者等含む) ▽行政機関 	<p>【市の施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①効果的で適切な住民サービスを行う ②情報の共有と対話ができる体制を整える ③効率的で適切な行財政運営を行う ④税収や新たな財源を確保する ⑤国・県との連携や広域的連携を強化する ⑥高等教育機関等との交流・連携を進める ⑦政策課題に対応できる人材を確保する 	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員の能力を高め、効率的な事務処理や良質なサービスにより、行政の信頼度が高いこと。 ○適正な受益と負担のもとで、収支のバランスが保たれ、将来にわたって行財政運営を持続できること。 ○国・県や大学、民間企業、他地域との連携や協力により、地域の課題が解決できること。 ○行政情報が分かりやすく伝わり、市民と行政が地域の課題や財政状況等を共有できること。